

にほんご

日语水平测试丛书

读解分册

张延凯 编写

吉林教育出版社

にほんこ

日语水平测试丛书

读解分册

张其成 编著

商务印书馆出版

日语水平测试丛书

读解分册

张延凯 编写

吉林教育出版社

(吉)新登字 02 号

日语水平测试丛书 读解分册

张延凯 编写

责任编辑:戴 宇

封面设计:王劲涛

出版:吉林教育出版社	850×1168 毫米 32 开本	6 印张	138 000 字
发行:吉林教育出版社	1999 年 5 月第 1 版	1999 年 5 月第 1 次印刷	
	印数:1—3 000 册	定价:7.00 元	
印刷:长春新华印刷厂	ISBN 7-5383-3806-3/G·3443		

前言

《日语水平测试丛书》是为参加各种日语水平测试的学生和从事外事工作的人员编写的。旨在作为一套参考书配合日本语能力测试（一级二级）和全国外语水平考试（WSK）及其它日语考试复习使用，它既适合于课堂考试，也适合于自学者自我测试。

日本语能力测试和全国外语水平考试，不以任何特定教材或特定的教程为依据，而是以测试一般语言能力为目的。所以，考生如果想在同类考试中取得优异成绩，只以某种特定的教材内容应付考试是不够的，还必须了解这类考试所需求的水平和考试的形式和方法。从目前情况来看，适合考生的复习教材和参考书还不能满足需要。考生迫切需要一套能够针对这类考试而编写的学习指南，以便掌握考试的要领，了解考试的形式，提高应试的能力。为此，我们以这类考试的大纲为依据，参照近几年的考试题型，编写了这套《日语水平测试丛书》，旨在给考生提供一种比较完备的考前复习资料，以测试自己的日语水平，提高自己的应试能力。

本丛书分为四个分册，体例新颖、独特。而且从实战出发，精选、精编了一部分过去出现过的考题，有一定的代表性和针对性。如词汇分册尽可能在大纲要求的范围内出题，以扩大考生的单词量和词语的理解能力。语法分册除了选出大量的试题外，还进行了详尽的解释，力图通过对语法现象、语法规律的解释，来指导

考生学会正确地使用日语，以及在使用某种表达方式时，应注意些什么样的限制条件。听解分册重点放在语言的实用性上，通过各种形式的短文、对话来了解日语的特点和日语的表达方式。读解分册精选了具有代表性的日语文章，以使读者通过阅读训练来加强自己的阅读理解能力。

本丛书所用的资料大部分是编写者在平时教学中积累下来的，在应试培训中先后试用过多次，然后进行反复推敲，认真加工，使试题的质量得到保证。

本丛书的编写者都是多年从事日语短期强化教学工作的教师，有着丰富的辅导应试的经验。丛书由张延凯组织编写。

限于编者水平，错误与不当之处在所难免，真诚希望广大读者提出宝贵意见，以便进一步修改。

编者

一九九九年一月于大连外国语学院

目 录

第 1 课	1	第 9 课	87
第 2 课	12	第 10 课	100
第 3 课	24	第 11 课	112
第 4 课	34	第 12 课	124
第 5 课	45	第 13 课	138
第 6 课	56	第 14 课	151
第 7 课	67	第 15 课	164
第 8 课	78	参 考 答 案	177

第1課

問題1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

カセットブックが大人気だ。

二～三年前までは、本屋の片隅に申し訳なさそうに置かれていたというのに、今では、(1)入口の正面にふんぞりかえっている。こう偉そうにしていると、絶対買ってやるもんかと思いはするのだが、やっぱり気になって思わず立ち止まってしまう。お気に入りの俳優による朗読だったりするともうだめだ。手に

①
しっかりとそれを握りしめてレジへ向かう。ああ、また買ってし

②
まったと唇をかみしめながら帰ることになる。

③
なぜカセットブックは売れるのか。簡単に言ってしまうと、本を読むよりも耳で聞くだけの方が楽だからだ。

〈読む〉という作業は、自分の手と目と頭をフル回転させて初めて可能となる。(2)〈聞く〉ためには、カセットテープをラジカセに入れてスイッチを押すだけで良い。耳栓をしな

①
ぎり、音は自然と耳に入ってくる。
。〈読む〉ことは純粋に自発的な行為だが、〈聞く〉ことは受身的だと言わざるを得ないだろう。もちろん、そのカセットブックを買ったこと自体は自発的な行為ではある。だが、それだけだ。そこからは何も始まらないし、終わらない。残るのは、頭

の中を通り過ぎた俳優の声だけであろう。

〔3〕カセットブックは売れ続けている。しばらくその理由は分からなかったが、近ごろは、こう思うようになった。昔、子供のころ、子守唄がわりに聞いた〈おとぎ話〉や〈昔話〉。あれと同じではないか。そして、それを話してくれる声の裏に隠れている父や母の愛情。現代社会のギスギスした生活の中で、愛情

を求める人々が、〔4〕声だけでも、そう願って、自分一人のために本を朗読してくれるカセットブックを買ってゆくのではないだろうか、と。

カセットブックは、ストレス時代に生活する人間たちの心の潤滑油なのかもしれない。

問1 〔1〕～〔4〕には次の1～4のどれが入るか。一番良いものを一つ選びなさい。

- | | |
|--------------|---------|
| (1) 1. 生き生きと | 2. 広々と |
| 3. 段々と | 4. 堂々と |
| (2) 1. ところで | 2. つまり |
| 3. しかし | 4. そこで |
| (3) 1. それでも | 2. あるいは |
| 3. そこで | 4. そのうえ |
| (4) 1. いわば | 2. せめて |
| 3. まるで | 4. たとえ |

問2 「もうだめだ」とあるが、これはどういう意味か。1～4

- ①
- の中からその説明として一番良いものを一つ選びなさい。
1. カセットがほしくて、いつまでもそこに立っていたい。
 2. カセットを買いたいという自分の気持ちに負けてしまう。
 3. 俳優の朗読が聞きたいので、店で聞こうと思ってしまう。

4. 朗読が上手かも知れないので、買ってみようと思う。

問3 「それ」は具体的に何を指すか。1～4の中から一番良い
②

ものを一つ選びなさい。

1. 本屋の正面に置いてあるカセットブック

2. 絶対買いたくないカセットブック

✓ 3. 好きな俳優が朗読したカセットブック

4. よく売れて人気のあるカセットブック

問4 「唇をかみしめながら帰る」とあるが、それはどうして
③

か。1～4の中からその理由として良いものを一つ選びなさい。

1. 好きな俳優によるカセットブックはいつも買ってしまうから

✓ 2. お金がないのに無理をして好きな俳優のカセットブックを買ってしまったから

3. 買いたいカセットブックがやっと手に入ってとてもうれしかったから

4. カセットブックは買わないつもりだったのに、結局買ってしまったから

問5 「ギスギス」とは「かどがあって親しみにくい様子」を
④

言う言葉である。次の1～4の中から使い方のまちがっているものを一つ選びなさい。

1. 彼の話し方はいつもギスギスしていて好きになれません。

2. 昔と比べるとこのごろはギスギスした世の中になってきたと思います。

3. ギスギスした態度は他人に良い印象を与えません。

4. 彼女は頭がギスギスしていて、何を言いたいのかよくわかりません。

問題2 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

試験というもので、いったいなにを調べようとしているのだろうか。たぶん「学力」といったものだろう。(1)、その「学力」というのが、知識や技能かという、少し違うような気がする。

おそらく、たとえば数学なら数学の世界が、心の中にどれだけ豊かにひろがっているか、それが「学力」というものなのだと思う。たしかに、その数学の風景の一部としては、知識や技能もあるかもしれない。(1)、それ以上に、知識を忘れてもなんとかなり、技能でつまずいても回復できるほうが、「学力」のような気がする。それは、この景色の内面化のあり方にかかわ
①
ていよう。

それはいくらか、個人の心にかかわってもある。同じ知識を得るにも、そこに歓びがあったか、同じ技能を得るにも、それを楽しんで身につけたか、そのことが彼の心にきざみつけられてい
②

る。(1)、試験というもので、そこまで見るのは無理だろう。むしろ、そこを断念すべきかもしれない。試験というものは、
③
いくぶんかは断念の上にだけ成立する。心には踏みこまないと
④

いうのが、試験の限界と考えるべきかもしれない。ぼくの心を
⑤
他人にはかられるのはいやだ、そう言って拒否してもよさそう
⑥

だ。

(2)、良質な試験としては、できるだけ彼の世界を判断しようとすることはできよう。たとえば数学の試験というと、世間では答の正否だけのように考えられかねないが、実際には、答案の表現のあり方から彼の心の世界を探ろうとするものだ。現実の大学入試の採点でも、そうしたことは試みられている。

問1 文中の(1) (2)の中にどんなことばを入れたらよいか。1～4の中から最も適当なものを一つ選びなさい。(文中に(1)は三つあるが、すべて同じものが入る)

(1) 1. だから 2. しかし 3. そして 4. つまり

(2) 1. それでも 2. そのうえ

3. そうして 4. それから

問2 文中の①「それ」、③「そこ」とは何か。1～4の中から最も適当なものを一つ選びなさい。

①「それ」

1. たとえば数学なら数学の世界

2. 豊かな知識や技能

3. ただの知識や技能ではない本当の学力

4. 心の中の数学の世界の一部

③「そこ」

1. 試験で知識や技能を調べること

2. 試験を楽しんで受けられるかどうかを調べること

3. 知識や技能を得るときの心のようすを調べること

4. 心の中の知識や技術の量を調べること

問3 文中の⑥「そう言って」は、どのように言うのか。最も適当なものを1～4の中から一つ選びなさい。

1. 自分の心の中は見られたくない

1. 2. 試験というものには限界がある (S)

問 3. 試験は知識や技能を見られない (S)

答 4. 知識や技能の内面化はむずかしい (S)

問 4 文中の②④⑤⑦の意味に最も近いのはどれか。1~4の中から一つ選びなさい。

②「心にきざみつけられている」

1. いやな思い出として残っている (S)

2. 思い出すのはたいへんだ (S)

3. 忘れたのに忘れられない (S)

4. よくおぼえている (S)

④「いくぶんかは断念の上にだけ成立する」

1. 少しあきらめなければやれない (S)

2. 少しだけならあきらめたほうがいい (S)

3. いくらでもあきらめられる (S)

4. あきらめてはいけないものだ (S)

⑤「考えるべきかもしれない」

1. 考えてはいけない (S)

2. 考えることができる (S)

3. 考えたほうがいだろう (S)

4. 考えるのはむずかしそうだ (S)

⑦「考えられかねない」

1. 思う人はあまりいない (S)

2. よく思われることがある (S)

3. 思われることはない (S)

⑧「思うのはいけないことだ」 (S)

問 5 この文章で筆者が一番言いたいことは何か。1~4の中から最も適当なものを一つ選びなさい。

1. どのぐらい知識や技能があるかを、くわしく調べられるのがいい試験だ
2. 数学なら数学の知識や技能を、楽しみながら調べられるのがいい試験だ
3. 知識や技能がまったくなくても、よく考えれば答えられるのがいい試験だ
4. 心の中の豊かさまでも調べられるのがいい試験だ

問題 3 次の文はどんなことを言っているか。最も適当なものを1～4の中から一つ選びなさい。

- (1) タバコを消さないで寝てしまったそうです。
 1. タバコをつけたまま寝てしまったそうです。
 2. タバコを消しながら寝てしまったそうです。
 3. タバコをつける前に寝てしまったそうです。
 4. タバコを消してから寝てしまったそうです。
- (2) 事故があったんじゃないですか。
 1. 事故がありましたか。
 2. 事故があったようですよ。
 3. 事故があったそうですよ。
 4. 事故じゃなかったらしいですよ。
- (3) 田中先生にお目にかけました。
 1. 田中先生にお見せしました。
 2. 田中先生にお会いしました。
 3. 田中先生にお世話になりました。
 4. 田中先生にゆるしてもらいました。
- (4) 田中さんは今日ぜんぜん食べませんね。
 1. 田中さんは今日あまり食べませんね。

2. 田中さんは今日ぜったいに食べませんね。
3. 田中さんは今日けっして食べませんね。
4. 田中さんは今日すこしも食べませんね。
- (5) 湿気に強く、カビから守ってくれ、おまけに火に強いという桐のたんすの良さは今さら言うまでもない。
1. 桐のたんすの良さは、火に強いというのが一番だ。
 2. 桐のたんすの良さは、いろいろあるが、あらためて言う必要はない。
 3. 桐のたんすの良さは、多すぎて言うことができない。
 4. 桐のたんすの良さは、いろいろあっても今さら言うほどではない。

問題 4 次の文の意味を表すものとして、最も適当なものを1～4の中から一つ選びなさい。

- (1) 田中さんがなおしてくれたので助かりましたよ。
1. 田中さんになおしてもらって助かった。
 2. 田中さんがなおしてあげてよかった。
 3. 田中さんをなおしてくれて助かった。
 4. 田中さんをなおして助けてくださった。
- (2) したんじゃないんだ。山田さんにさせられたんだ。
1. 自分はしたくなかったが、山田さんの命令でしかたなくした。
 2. 自分はしたくなかったので、山田さんに命令してさせた。
 3. 自分はしなかったが、山田さんがしてしまった。
 4. 自分はしなかったが、山田さんがほかの人に命令してさせた。
- (3) うかがうまでもないんですが、これでいいですね。

1. わざわざ聞く必要はないと思いますが、これでいいですね。
 2. わざわざ訪問するほどのことでもありませんが、これでいいですね。
 3. 質問する前によく考えたんですが、これでいいですね。
 4. 質問ばかりしてもうしわけないんですが、これでいいですね。
- (4) 今、ちょっと席をはずしておりますが。
1. 今、外出中です。
 2. 今、ここにおりませんが。
 3. 今、席を立ったばかりですが。
 4. 今、そちらに向かいましたが。
- (5) あしたの午後、ちょっとおじゃましてもよろしいでしょうか。
1. あしたの午後、お宅に行ってもいいですか。
 2. あしたの午後、ちょっと仕事を手伝ってもらえませんか。
 3. あしたの午後、外出してもいいですか。
 4. あしたの午後、友達をよんでもいいですか。

問題 5 次の(1)から(5)の文章はどんなことを言っているのか。最も適当なものを1~4の中から一つ選びなさい。

- (1) 自分ががんになったら知らせしてほしい。しかし、家族ががんになったときは、本人に知らせないと思う。——A 新聞社の世論調査は日本人のゆれ動く心を映し出した。
1. がんの告知に対する日本人の考え方は古い。
 2. がんの告知に対する日本人の考え方は自分勝手である。
 3. がんを告知したほうがいいのかどうか日本人はまだ迷っ

すづんでいる。でも、思っている以上に聞きにくい。

4. がんの告知に関し、日本人は否定的である。

(2) 本をきれいにたなに並べるのは、難しい仕事である。本の内容にそって並べると、本の高さがばらばらで、あまりきれいではない。また、本の大きさや色によって並べると、きれいには見えるが自分の読みたい本が見つけにくくなってしまう。

1. 本は内容で並べても、大きさに並べても、さがしにくくなってしまう。

2. 本は内容で並べると、きれいにならないし、形で並べると、さがしにくくなってしまう。

3. 本は内容で並べても形で並べても、みづえがしない。

4. 本は内容で並べると、きれいにならないが、形で並べるときれいなので、そうしたほうがいいと思っている。

(3) まったくことばのわからない国へ行くと、わたしは手帳に絵を書いたり、身ぶり手ぶりで気持ちをあらわそうとする。相手もくり返し聞く。お互いに相手をわかろうと努めれば、「なにがしたいのか」「いいのか」「だめなのか」ぐらいのことは通じるものである。

1. ことばがわからなくても、相手を理解しようとすれば、ある程度はわかり合える。

2. ことばがわからないと、相手の言いたいことを理解するのはたいへんである。

3. ことばがわからなくても、絵や身ぶりで十分に相手を理解することができる。

4. 絵や身ぶりでは、言いたいことが相手に通じないことが多い。